

役場ハートフル駐車場に カーポートを設置しました



わたしの夢、語ります

荒木 妃依^{ひより}さん 美浜東小学校 6年 (佐田)

夢をかなえるために

私の夢は、剣道で日本武道館に行くことです。

日本武道館に行くには、県で1位にならないと
なりません。1位になるために強い選手は、夏も冬も関
係なく稽古をしています。だけど私は、夏は暑いし冬
は寒くて足が痛くなるので、剣道の稽古が嫌になる
こともたくさんあります。それでも私のチームには仲
間がたくさんいて、同じようにみんなも稽古が嫌だ
と思ってるのかなと思うと私も頑張れます。

剣道をしてきて、友達や仲間がたくさん増えまし
た。日本武道館に行って新しい友達も作りたいの
で、これからも剣道の稽古を頑張ります。



令和6年5月に町役場正面のハートフル駐車場(※)にカーポートを設置しました。

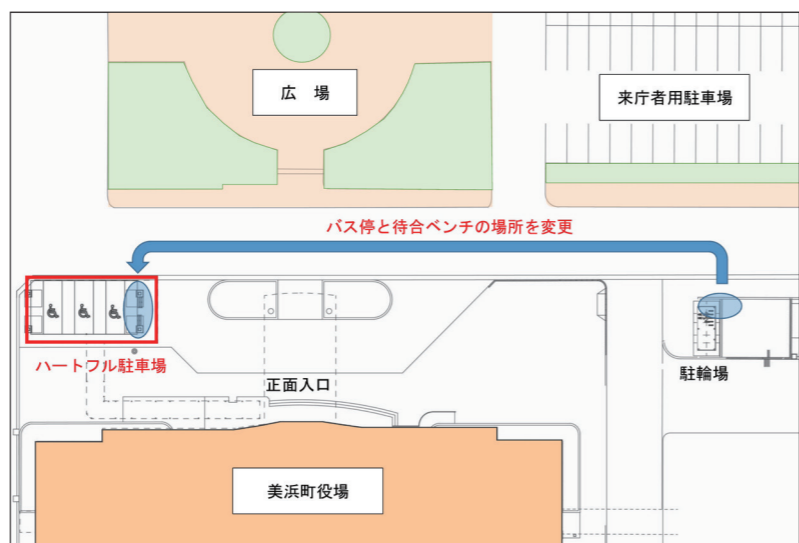
これまで、ハートフル駐車場は雨風にさらされる環境にありましたが、カーポートの設置により、悪天候でも安全安心に乗降できるようになりましたので、来庁時にはいつでもご利用ください。

また、カーポートの設置に併せて、役場前バス停の設置場所を変更しカーポート内に併設しました。このカーポートには、ベンチを設け、また延伸した屋根の下にコミュニティバス(チョイソコみはま)が停車できるよう設計しました。雨天時にも安心してコミュニティバス(チョイソコみはま)をお待ちいただけます。

※「ハートフル駐車場」とは、車いすの方に限らず、歩行が困難な方が利用できる駐車場です。障がいのある方や高齢の方、難病の方、けがをしている方、妊産婦の方等、通常の駐車場からでは歩行が難しいと感じる方は、気兼ねなくご利用ください。



↑ハートフル駐車場側に併設されたバス停



↑バス停の場所が駐輪場側からハートフル駐車場側へ移動しています

庁舎内部の大規模改修工事を 予定しています

令和5年度に引き続き、庁舎内部の改修工事を予定しています。来庁者の皆さまにはご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

※詳細は、来月号の広報みはまで改めてお知らせします。

CONTENTS 目次 広報みはま2024年7月号

- 2 わたしの夢、語ります／表紙の写真／目次
- 3 役場ハートフル駐車場にカーポートを設置しました
- 4 令和6年6月補正予算概要
- 8 国民健康保険税の税率等の変更と軽減制度をお知らせします
- 9 美浜町健康支援あいあいアプリを活用しませんか？
- 10 まちウォッチング
クリーン・ザ・シー/美浜町民野球大会/美はま食ひより 他
- 12 まちウォッチング特別編 - 小学校体育大会 -
- 14 美浜町のニュース
「ふるサボ」空家等管理活用支援法人に指定 他
- 15 情報BOX
後期高齢者医療被保険者証が新しくなります / 夏フェスタ 2024 を開催します
- 21 美浜発電所の状況について
- 22 すこやか放送局
- 23 ふるさと昔よもやま話146 / 文芸欄
- 24 ハートフル広場
はじめてバスデー / 町人さん / 慶弔 / 人口の動き / 広報クイズ
- 26 ぐらしのカレンダー

- 表紙の写真 -



6月1日に、美浜中央小学校体育大会で行われた5・6年生リレーの写真です。

今年は同日に、町内3小学校で体育大会が行われ、どの小学校にも多くの人が集まっていました。

表紙のリレーでは、青組と黄組が同着でゴールをするという珍しい結果となり、会場内は大歓声に包まれていました。

3 地域愛の醸成、まちの未来を担う人づくり

(1) 生涯学習の充実

みはまシナプスプロジェクト事業 **8,952万円**

多様な交流を通して、視野・人脈づくり、コミュニケーションの場を創出し、学びの提供を通じた関係人口の拡大を図ることを目的とした拠点施設「にぎわい交流センター（仮称）」を整備します。



↑にぎわい交流センター（仮称）の外観イメージ図
（令和7年4月供用開始予定）

シナプス先輩大学事業 **46万円**

みはまシナプスプロジェクトの「人づくり」の一環として、主に中高生を対象とした「シナプス先輩大学」を開講し、子どもたちの将来の選択肢や可能性を広げるとともに、外から見た美浜の良さをすることで、町民の地域愛醸成に繋がります。

- ・ 講師 美浜町出身の方や美浜にゆかりのある方
※講師から講師へバトンを繋ぎ講演会を開催
- ・ 内容 成功体験や外から見た美浜の良さについて 等
- ・ 対象 主に中高生、一般の方も受講可
- ・ 実施時期 秋・冬・春頃の年3回を予定
- ・ 期待される効果
 - ▶ 中高生から大人までの幅広い世代の学びの場を提供
 - ▶ 子どもたちの将来の選択肢を広げ、チャレンジ意欲を向上
 - ▶ 町民の地元への誇りや愛着心を醸成

(2) スポーツ・教育環境の充実

美浜西小学校グラウンド整備事業 **3,707万円**

グラウンド路盤の経年劣化により排水処理機能が低下し、スポーツ事業や体育授業等に支障が生じているため、暗渠排水設備と表層土及び下層土の入れ替えによりグラウンドの機能性向上を図ります。

美浜中学校ローイング競技艇購入事業 **486万円**

美浜中学校ボート部で使用している競技艇が、配備から20年が経過し、経年劣化により競技に支障が生じているため、新規に艇を購入し、町技であるローイング競技の競技力向上を図ります。



↑クオドルブル競技艇

美浜ジュニアローイングクラブ運営支援事業 **120万円**

中学校部活動の地域移行とローイング競技選手の確保及び、スポーツを通じたまちづくりの一環として、福井県ローイング協会が立ち上げた美浜ジュニアローイングクラブの運営に支援をします。

4 「にぎわいゾーン」を活用した交流と産業の活性化

はまなびフェスタ 2024 開催事業 **850万円**

町の「にぎわいゾーン」を一体的に活用し、町内の各種団体及び町内外からの来場者との交流を通して町を活性化させるイベントを町民によって構成される実行委員会形式により開催します。

- ・ 事業主体 はまなびフェスタ実行委員会
- ・ 開催日 10月26日（土）・27日（日）
- ・ 開催予定地 町の「にぎわいゾーン」
生涯学習センター「なびあす」から道の駅「若狭美浜はまびより」の区間
- ・ 開催イベント ステージイベント、町内製品の販売・飲食テント出店 等



↑はまなびフェスタ 2023

令和6年度6月補正

一般会計6月補正予算額

14億5,977万円

予算

一般会計補正後予算総額

91億4,419万円

※実際の予算額は千円単位ですが、分かりやすくするため万円単位で表示しています。

まちづくりの推進に向けた主要施策

1 DX 推進 デジタルを活用した業務効率化・住民サービスの向上

庁舎内 DX 推進事業 **1億9,464万円**

業務端末や行政システムの再構築により業務の効率化や職員間のコミュニケーションの充実を図り、職員の働き方改革、住民サービスの向上を推進します。

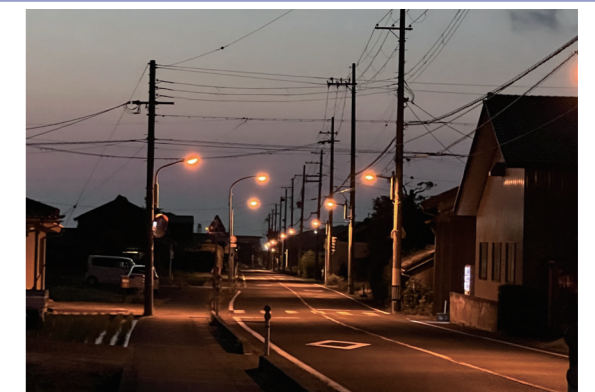
- 職員の業務端末、サーバの更新等により業務の効率化、働き方改革を推進
 - ・ 業務端末（PC）の無線化により、業務の一部をフリーアドレス化
 - ・ コミュニケーションツール（チャットツール）の試験導入により業務を効率化
 - ・ 業務端末のモバイル化により、資料等のペーパーレス化、情報伝達のスピードアップを促進
- 行政システムの標準化により業務の効率化を推進
 - ・ 全国自治体共通の業務システムに統一・標準化し、業務に係るコストの削減、制度改正等の対応の効率化を推進

2 GX の推進 公共施設の LED 化、住宅用太陽光発電の導入促進

明かりのまちづくり事業 **4,284万円**

主要幹線道路設置のナトリウムランプ防犯灯等を LED 灯へ計画的に更新（令和5年度～9年度）

- 令和6年度工事概要
 - ・ 対象路線 ①更新工事
県道松屋河原市線（灯数：245灯）
 - ②実施設計
県道日向郷市線（灯数：115灯）
※工事は令和7年度実施予定



↑県道松屋河原市線を照らすナトリウムランプ

保健福祉センターはあとぴあ照明設備更新事業 **2,260万円**

照明設備の老朽化に伴い、施設全体を LED 化することで、温室効果ガス排出量及び電気料金の削減、施設の長寿命化を図ります。

生涯学習センターなびあす照明設備更新事業 **5,225万円**

館内の図書館、コミュニティルーム等の照明設備を LED 化することで、温室効果ガス排出量及び電気料金の削減、施設の長寿命化を図ります。

住宅の太陽光・蓄電池設備導入費補助金 **303万円**

再生可能エネルギーの地産地消の取り組みを加速化し普及促進を図るため、住宅の太陽光発電及び蓄電池設備の導入に係る経費の一部を助成します。（関連第18頁）

7 災害に備えた体制強化、地域防災力・コミュニティの向上

町地域防災計画見直し業務 **484万円** 災害廃棄物仮置場基礎調査事業 **148万円**
津波ハザードマップ見直し業務 **269万円**

地域や住民の生命、身体及び財産を災害から守るため、令和6年1月に発生した石川県能登半島地震を踏まえて、美浜町地域防災計画や津波ハザードマップの見直しを行います。

また、災害時に大量に発生する災害廃棄物を、速やかに生活圏から撤去することが重要であることから、事前に仮置場の選定や運用などについて基礎調査を実施します。

- | | |
|---|---|
| <p>①町地域防災計画の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> 最新の津波想定を反映 津波警報発令時の警戒体制の見直し 耳川の河川水位情報の更新 河川水位等監視システム情報の反映 … 町内中小河川監視カメラ(R5 整備) 防災計画に紐づく計画、マニュアルの修正 等 | <p>②津波ハザードマップの見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> 津波ハザードマップをより見やすく更新 等高線や避難場所の標高等を追記し情報を付加 マップの活用方法等の周知 等 <p>③災害廃棄物の仮置場選定に係る基礎調査(新規)</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮置場となりうる候補地等の整理、現地調査 ごみの保管量の推計 搬入搬出動線の検討 運営体制の検討 等 |
|---|---|

減災対策事業計画策定事業 **504万円**

令和3年度に策定した洪水ハザードマップに基づき、避難情報等を発信するとともに、減災のための施策を計画的に進めるため、減災対策事業計画を策定、減災マップを作成します。

- | | |
|---|---|
| <p>①事業目的</p> <p>町が作成したハザードマップを基に、地区毎の防災上の課題を把握・整理を行うことにより、実態に則したきめ細やかな減災対策計画を策定し、町民にわかりやすい減災マップを作成する。</p> | <p>②対象エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> 耳川水系(令和6年度) 早瀬川水系、敦賀半島エリア(令和7年度予定) |
|---|---|

集落コミュニティ施設等整備事業 **2,000万円**

各地区集会所における、防災拠点及び地域コミュニティ施設としての機能向上を推進し、住民にとって安全安心な施設の確保ができるよう、各区が実施する施設整備等の費用に対する補助制度を拡充します。

①補助内容(赤字は変更箇所、補助率及び上限額のカッコ内は改正前)

施設等	区分	対象経費	補助率	上限額
集会所	新築・改築	工事費(解体費含む)、造成費、設計監理委託料	(1/3) 対象経費×1/2	(1,500万円) 4,000万円
	修繕・改修・増築	工事費、造成費、設計監理委託料	(1/3) 対象経費×1/2	(1,000万円) 2,000万円
野外活動施設【遊具等】	新設・修繕・改修	工事費、設備費、設計監理委託料	(1/3) 対象経費×1/2	(200万円) 500万円
空調設備、厨房設備 ※新設	新設・修繕・改修	工事費、設備費、設計監理委託料	対象経費×1/2	500万円
集会所の備品等【消耗品を除く】 ※新設	購入	購入費	対象経費×1/2	100万円

②加算要件(集会場を新築・改築する場合)

- 戸数加算 : 区の取扱い戸数に応じて補助金を別途加算
- 地域加算 : 対象となる集会所が災害時(地震、津波、洪水、土砂災害等)の避難に不適とされる場合で、災害の危険性が低い場所へ移築する場合または擁壁等の安全対策を講じる場合は、補助金を別途加算

③補助要件 集会所を新築・改築する場合は、認可地縁団体であること(認可予定団体を含む)

敬老会助成事業 **1,057万円**

支援をこれまでの、1人当たりの助成限度額一律4,000円から敬老会を開催する場合は、1人当たりの助成限度額を5,000円に拡充し、高齢者の社会参加や世代間交流を促進します。なお、記念品の配布のみ行う場合は、1人当たりの助成限度額を2,000円として支援します。

4 「にぎわいゾーン」を活用した交流と産業の活性化

鯖サミット2024 in 美浜 開催事業 **450万円**

はまなびフェスタとあわせて、町制施行70周年と北陸新幹線敦賀開業を記念し、日本各地の鯖を味わい、楽しめる食のイベント「鯖サミット」を誘致して同時開催することで、町外・県外から誘客し、広く美浜町をPRするとともに交流人口の拡大と産業の活性化を図ります。

- ①開催目的
- 鯖産地や鯖食文化のある地域、食品事業者の店舗を通じて、ご当地のブランド鯖や鯖食文化等を来場者に向けて魅力を発信する。
- ②開催イベント
- 各地域の鯖を味わう : 全国の鯖関連商品のブース販売・PR
 - 開催地のPR : 鯖関連商品のみならず地域特産品等のブース販売・PR
 - トークセッション : ご当地鯖の魅力、地域の特色や取り組みの紹介
 - 交流会 : 開催地と参加地域・参加出店者との交流による情報連携

5 交流人口の拡大、まちの魅力発信

スポーツでつながるファンづくり応援事業 **180万円**

町出身の山口良治氏の教え子の方々为主催する少年ラグビー大会が町内で開催されます。出場者・応援者を含め1,000人規模の大会であり、大会関係者、プレイヤー同士の交流を図るとともに、町内の観光施設等をお得に周遊できる割引券を配付し、スポーツによるまちづくり及び持続的な交流人口の拡大を図ります。

- 大会名 山口良治杯美浜町少年ラグビー大会
- 期 日 8月24日(土)～25日(日)
- 会 場 美浜町総合運動公園
- 参 加 32チーム(関西中心に小学5・6年生チーム)
- 周遊割引 道の駅 若狭美浜はまびより
- 対象施設 美浜町レイクセンター
レインボーライン山頂公園
若狭国吉城歴史資料館 他



↑ 令和5年度大会の様子

6 美浜の先人ゆかりの地「軽井沢」と連携した誘客促進

北陸新幹線がつなぐ観光PR事業 **200万円**

長野県軽井沢町が、観光のシンボルとして活用を図るべく保存修理を進めている「旧三笠ホテル」は、本町佐柿出身の実業家山本直成氏が軽井沢に広大な土地を購入し、その次男の山本直良氏が軽井沢の避暑地としての発展を見据え、開発事業を計画し、創業した建物であり、町と深いゆかりがあります。北陸新幹線敦賀開業とこのつながりを契機に軽井沢と友好を深めるとともに、美浜への誘客につながる観光PRを展開します。

事業概要

- 1) 出向宣伝・物産展の実施
- 2) 観光PRブースの設営・パンフレット配架
- 3) デジタルサイネージによるPR動画放映 等

開催イベント

- 軽井沢町農産物等直売施設
- 軽井沢発地市庭(予定)



↑ 旧三笠ホテル(国重要文化財)(軽井沢町教育委員会提供)